

東京鰐陵

発行 ● 東京鰐陵会
 会長 木村莞爾
 発行所 ● 東京都中央区日本橋蛸屋町1-4-2-305
 (三宅デザインルーム内)
 TEL & FAX 03(3662-6593)
 編集 ● 東京鰐陵編集委員会
 郵便局指定口座番号 東京鰐陵会
 東京00180-4-350194

あけまして おめでと〜うい〜ます



東京鰐陵会会長 木村莞爾(29回志)

昨年は東京鰐陵会運営につきまして、会員の皆様から暖かいご支援を賜り、まことにありがとうございました。また今年度の会報「東京鰐陵」発行に際しましては、多数の方々にお礼申し上げます。

平成17年11月に渡邊前会長と三宅前事務局長から、新体制で会務を引き継いだのち、昨年、専任を会長とする委員4名の「運営会議」を設けました。この会議は「総会」「会報」「理事会」「委員会」など本会運営の重点項目についての企画・執行グループの位置づけとし、昨年は各委員多忙の中、開催は5回でしたが、まだまだ十分とは言えないものの一応の成果を得たと評価しております。今後とも本会の検討課題すなわち財政状態の改善、新規会員の把握、そして事務局の移転先候補についても、この「運営会議」ならびに「理事会」とその合同に運営開く作業部会を軸として方向づけを行って参ります。特に事務局事務所は、名義を三宅デザインルーム方に長い間無償で置かせていただいている関係上、何とか早急に替わりの事務所のある

母校では、昨年は多くの新しい話題がありました。皆様に既にご案内の通り、男女共学制の実施、図書館の解体、新校舎の竣工など、時代の変化が実感されるものばかりです。本会も昭和34年新立以来今年で48年になりました。これからは、会員構成もさらに高齢化が進む一方、新同志生の増加で年代幅が拡大するともいえます。近い将来女性会員を迎えることになり、「東京鰐陵会」もやはり変わりつつあるといえます。そんな流れの中にあっても、わたしたちは諸先輩の方々から受け継いだ良き伝統と鰐陵精神を大切に、会員相互の親睦を固めつつ、母校との強い絆を保持していきたいと考えております。

今年はこちらと「総会」の開催年にあたります。この行事を通じてさらに会員同士の親密の度が増すものと期待されますので、今後とも皆様の協力をお願い申し上げます。

鰐陵精神



宮城県石巻高等学校校長 鈴木孝資(37回志)

10月18日、恒例の「強歩大会」が行われた。私の在学中はマラソン大会と称していた。今は、自分の体力と体調に合わせて、走るのもよし歩くのもよし制限時間内にゴールすればよい、ということによって大会となった。石巻市井内の真野川水門をスタートし、鰐陵を通り女川町運動公園をゴールとする約22キロメートルのコースである。そこは、「箱根駅伝」にも匹敵する坂道あり、砂利だらけの悪路あり、車の通行の困難な道ばかりである。制限時間は5時間。

朝9時、男女同時にスタート。スタートの役目を果たした私も走り出した。トップでスタートした私であったが、すぐに数十人に抜かれた。先頭集団の勢いはすさまじく、まさに脱走のごとくである。私の「走り」は2キロも持たず、そして、日常の運動不足のせいもあり、ペースダウンを余儀なくされ、ゆっくりとした「歩き」に変わった。

9キロ地点を通過すると膝が痛くなり、歩くのが辛くなった。膝の痛みに向かい、坂道になった後、さらにスタートした一年生にも抜かれる始末である。女子生徒からの「お疲れ様です」の声援。こんなにも美しい日本語を使える石巻生がいることをうれしく思った。膝

勝利付近ではほとんど最後尾になった。体脂肪率30%を超える私には、この坂道は過酷であった。足が痛む。動悸も激しくなる。苦しみのなかで、思わず校歌、鰐陵歌、幻の門、樹の葉、などを口ずさんでいた。苦境に立たされたときに、心の拠りどころは鰐陵であった。私は間違いない。「鰐陵人」であることを思い知らされた。やっとの思いで膝を癒え、下り道になった。残り6キロほどである。下り道は想像以上の悪路である。9月上旬の低気圧通過による暴風雨のため表層の土が流され、石ころだらけの道では道である。しかも、勾配が急で、踏ん張らなければ下れない。普通道に歩いていったのでは転倒してしまふ。生徒に人が出ないようにと案ずる余裕もなくなると、我が身を無事ゴールにたどり着かせようとした。必死にたどり着いた。各ポイントの係生徒と教職員に助まされ、やっとの思いで制限の5時間を越えることなしにほとんど最後尾でゴールできた。男子の1位は約1時間30分。女子の1位は約3時間。もちろん女子を含めた全員が制限時間内にゴールした。共享になっても、買戻剛健は受け継がれている。強歩大会の生徒の様子を振り返ってみると、何よりも大会に臨む態度が真実である。欠席者がほとんどいない。自己の限界に挑戦しようとするひたむきさがある。鰐陵精神は確かに生き続けている。

共学になって、定員の43%にあたる102名の女子が入学した。その女子は学習面・学校行事面・部活動面などあらゆる教育活動に意欲的に取り組んでいる。そして、強歩大会で見られたように「石巻らしき」は失われていない。共学化は混乱もなくスタートできた。今石巻生は伝統を継承しつつ「共学校」という新しい学校づくりに邁進している。

今後石巻のために、東京鰐陵同窓会の皆様からのご支援を賜りたい。

石巻高校に入学して



1年A組 長谷川里実

私が石巻高校に入学してまず驚いたのは応援練習でした。毎朝8時になると待安の先輩が「窓開けろ」という声と共に勢いよく教室に入ってきていきなり応援練習が始まり、私達1年生は手を組み、後ろに反って大声を出して練習しました。最初のうちは覚えななけれど、この応援練習は昔から受け継がれていて、石巻の伝統なのだという話を聞いてからは石巻生としての自覚が芽生え、その受け継がれてきた伝統をしっかり私達も受け継ぎたいという気持ちを持つ練習に臨むことができました。共学化に伴い、変化したものは沢山あります。私達

祝会報「東京鰐陵」第10号

鰐陵同窓会

事務局 〒986-0838 宮城県石巻市大手町3番15号
 宮城県石巻高等学校内 TEL/FAX 0225-96-9008

●役員

会長	長佐藤 佑(35回志)
副会長	三河 鴻一(35回志)
	菅野 昭雄(35回志)
	林 久義(35回志)
	小笠原秀一(35回志)
	青木 利光(35回志)
	高城 宏(35回志)
	色川 健一(35回志)
事務局長	鈴木 孝資(37回志)
副	佐藤 信男(37回志)
編集	小野寺雅典(37回志)

が戦しいと思った応援観客も前はもつと戦しかつたし、新1年生と2年生が初めて顔合わせをする対面式も共学になりました。いつまでも変わらないうちにおとなしくなったと聞き、私達も驚きました。それは仕方ないことだとも思います。しかし、行事などでは盛り上がり普段の生活はおとなしく過ごすといった精神や、自由の風など、共学化になっても残していきけるものや伝統はたくさんあります。私達は男子校としての石高と共学校としての石高の継ぎ目の学年として、

旧講堂お別れ会に出席して

前東京鰐陵学生会 渡邊邦夫(24期生)



大正15年10月に完成した洋風建築の旧講堂も、去年平成18年7月に解体されてしまった。80年もの長い間、鰐陵健児の巣立ちを見守ってきた建物である。

昭和27年卒業の小生には、あの雄びやかな洋風建築の輝きと、優雅なシャンデリア、そのまぶしさを思い出して、涙がこぼれ落ちた。あの頃の情景が、うつつもながらリノリウムの河れきった破片を丁寧に2、3枚、ピンル

それらの伝統を共学校としての石高にきちんと残さなければならぬと思います。共学化により、石高は大きく変化しました。その変化によって失われたものも沢山あると思います。大切なものは、私達がその失われてしまったものを上回るくらいのもの、共学化としての石高の新しい伝統を造っていくことだと思います。卒業後、私達が共学になって初めての学年だ、と誇れるくらい石高を素晴らしい学校にできるように、私達一人一人が考え、動いていかなくてはならないと思います。

へ行ってしまったらどうしようと心揺れるばかりであった。前同学生会長の佐藤信夫先生曰く、あのシャンデリアは、ヨーロッパの某宮殿で再会してきたウンメンの話に、サモアリナソン、思いは同じように感ぜられた。11月になって同窓会事務局へ電話、更地になっていての様子をお聞きしたが、今後、この場所には何か建つのかも、予定は判らずとのこと、なんとしても保存して置きたかった至家だったと、後継先に立たず、女にしろ、4年間も最下級生として過ごしたのだから、講堂に入ってもうつむいてリノリウムをジッと見つめて、話を聞き入っていた事が、心から懐かしく思っている。



鰐陵最後の砦の解体 そして新しい時代へ

前同窓会会長 佐藤 佑(26期生)



旧制石中時代からの建物が、2006年7月、とうとう解体されてしまいました。その

建物は、1926年に建築され、1953年までは講堂として使用されており、私の入学式も1951年に講堂で行われたのです。しかし、1953年に体育館が新

築されたので私の卒業式は体育館で行われ、講堂は、その後、図書館として使用されることになり、それ以降、図書館は、鰐陵生の読書や学習の場として活用されました。

図書館解体までの経過について

前同窓会事務局長 色川健一(27期生)



2006年7月、80年にわたる風雪に耐えた図書館が解体されました。図書館は以前から老朽化がすすみ、雨もりがしたり壁がはがれ落ちたりするようになり、また、耐震性の面でも不安がでてきたため、創立70周年のころ修理も検討されました。しかし、図書室を備えた西校舎の改装が、平成13年2月の県議会でも正式に決定され、同時に図書館の解体(並びに第二体育館の解体)が決められました。理由は老朽化のためでした。16

年11月の西校舎の竣工に伴い、12月に図書館から蔵書を選びました。その後、東校舎の改装が始まったため、図書館は17年4月から、美術の授業や吹奏楽部の練習場所として使用されました。そして17年12月、東校舎の改装終了により、図書館はその役割を終えました。今年6月に行われた「お別れ会」には百名余の同窓生や皆さんに参加していただき、感謝の意を述べたいと思います。将来の母校に思いを馳せ、おわりに、同窓生各位のご健勝を祈ります。

暮色にそまるありし日の旧図書館(上)と新校舎

おかげさまで、平成12年3月15日
ジャスタックに上場しました。
(証券コード番号 7568)

WE'LL BE THERE

近年中に東証二部上場を
目標としています。

代表取締役会長 平山貞夫 (27期生)

取締役 伊藤 邦 (27期生) 取締役兼専任代理 石橋邦夫 (16期生、20期生)

専任監査役 津野重明 (27期生) 専任監査役 丹羽秀徳 (18期生)

●人材募集●全力投資する新株主・知人をご紹介ください。

トーマスグループ 株式会社トーマスグループ 金管社(2005) 伊藤明夫(2005)

東洋 安藤 佐藤 東野 山本 山崎 上野 山田 山本 山本

宮城ガスマン 宮城ガスマン 宮城ガスマン 宮城ガスマン

札幌ガスマン 宮城クレックス工業

杉野石造ガスマン 宮城ガスマン

クレックスグループ 取締役兼専任代理 伊藤邦夫(2005) 03-423-2011

株式会社 クレックス Clean Energy 2

本社/千葉県市川区加賀利町690番地 電話043(234)21110

支店/千葉県市川区加賀利町690番地 電話043(234)21110

支店/千葉県市川区加賀利町690番地 電話043(234)21110



「高橋良さんをお祝いする会」1987（昭和62）年
良さん献酬のお祝い会を菅野さん、生江先生が祝賀
人となって、新報「文海」で催したときのスナップ

借別 高橋良、菅野寿両先輩を 偲ぶ

「高橋 良氏6月10日死
去、葬儀は高橋君が済ませ
た」との訃報記事が新聞に
掲載された。葬儀委員の間
い合わせが事務局の三宅君

菅野七三郎（21回生）

に投函した。
8月21日、良さんの訃報
を見届けたが如く、菅野寿
さんも後を追うように貴野
の国に旅立ったことを知り、
斯くもよき「友」であった、
とつくづく思うのである。

お二人は、私達東京鰯陵
会の事務局や先輩から、良
さん・ドクター・カンノ・と
いう呼び名で親しまれた同
級生（15回生）であった。
良さんは、NHK技師長
・専務理事を経て、NHK
アイテックの社長になられ
ているとき、第3代東京
鰯陵会長を引き受けてくだ
された。

菅野さんも日本医師会副
会長、参議員（社会党）と
いものです。
さて、本年より女子生徒も
入学し、石巻高校も新しい時
代に向かうことになりました
が、鰯陵の精神が引き継がれ
ていくことを切に願っております。
おわりに、東京鰯陵会の会

木造校舎と 図書館の思い出

木村 貴則（33回生）

我々33回生にとつての木造校
舎の思い出は、2度の火災後
失の事件を抜きには語れませ
ぬ。当時の新聞「鰯陵」の昭和
33年10月24日発行の記事から抜
粋すると、「10月18日本校東側

報発行、大変おめでとうござ
います。会報が、会員相互の
親睦をさらに深めることを確
信します。編集に携わった皆
さんのご労苦に感謝申し上げ
るとともに、東京鰯陵会の益
々の発展を祈念致します。

校舎を焼く、壊される理科教
室」の見出しで火災状況を
報じており、「焼失した建物は、
旧体育館（省略）3年の各教
室（計1,660平米）損害は
2,000万円を越す。授業の
影響は僅少、21日より授業開始
鰯陵生と奮起せよ」とある。2
度目の火災は、昭和34年1月20
日で校舎579平米を焼失した。
このため、体育館の仮設教室
で授業を再開されたが、焼
失した机や椅子の代わりを買い

受けに、仙台一高、仙台二高、
仙台一女高などにトラックに乗
って向かったのも思い出です。
従つて、我々が木造校舎で授業
をした期間は4月の入学から6
カ月程度であったが、古びた彫
刻の傷跡の残る机に座り、窓か
ら校庭の桜の木と東北パルプの
煙突の煙を両方に見ると、石高
生になったことを実感したのも
です。校庭の桜の木の前には太
平洋が広がり、その色が毎日微
妙に違ふことが分かったし、遠
くを走る船の影を見て、貨物船
タンカー、軍艦の識別を羨しみ、
目印の桜の木の目線の間を走る
船の時間を測つて、船の速さを
何ノットと規定した場合の船の
開数の計算から算出して、あの
船は何処へ向かっているのだろ
う、と想像して楽しんでいたも
のでした。木造校舎の思い出は、
窓から外に出られたこと、黒光
りした下駄、教師のスリッパ
の足音など。

図書館の思い出は、良く利用
したという思い出は少なく、リ
ノリウムの床と油で磨いた光沢
が記憶にあります。修学旅行の
前に、時間先の調査が課題とし
て与えられ、法隆寺の建築物を
調べたのですが、その時に読書
から適当な参考書を見つけてし
ました。また、この窓は眺ね
上げ式になっており、教室より
も床が高いので、世界が広がり
太平洋が遠くまで見渡せた記憶
があります。
その図書館も取り壊されて写
真で面影を憶ふだけになったの
は寂しい気がしますが、AV資
料の保管やパソコン環境を備え
た新しい形の図書館に生まれ変
わることを期待して、一つの区
切りの時期であらうかと納得さ
せています。発展を祈ります。

畑岡外科クリニック

院長 畑岡 寛

(20回生)

診療所 横浜市南区藤町二一八二一五
電話（〇四五）七二四一三四三八

桜田会計事務所

税理士 櫻田 巖

(21回生)

公認会計士 櫻田 修一

〒210 0006 川崎市川崎区砂子二丁目十一七
ルリエ川崎駅前ビル三〇一
TEL 〇四四一二四四一七七八

NHK「純情きらり」のひと



半海一晃(初巻)

「純情きらり」出演のきっかけは、以前に出演した民放のドラマを「純情きらり」担当ディレクターが観てくれたのが縁でした。初めは「演じた秋山均(ジャズ・サックス奏者)」という役は、前半の一部分に登場するだけの役でしたが、台本が出来上って来たのに少くも出演回数が増え、結局全編音楽を通じて主人公にかかわっていき、人物に成長していったことは、僕にとっても幸運でした。

現在NHK正月時代劇「福部安兵衛」の撮影中です。そこでこの文章を皆さんに読んでいただく頃は、ちょうど僕自身がプロデュースする舞台「明日にかけるはし」(2/6-12)、「新編シアタートップス」の稽古中でしょうか。(前出オマケ東京主宰)

通テレビドラマは三ヶ月間期です。半年間一人の人物を演じ続けたことの意味、その間主演の宮崎あおいさん始め才能豊かな俳優達と同じ空間で仕事が出来たことの喜びは、今感じているよりももう少し時間がたつた時にきつとずっと大きくなっていると思います。



シベリア抑留から60余年たって

阿部軍治(3巻目)

2005年、総務省傘下の認可法人平和祈念事業特別基金が「戦後強制抑留史」全8巻を出版、私はその中の2巻「分を分担執筆した。分冊部分は量的には新書本くらいある。昨年と同時に私個人のもの「シベリア強制抑留の実態」を刊行した。内外の関係資料を渉猟し、10年かけ、随分苦勞をして書き上げた。だが、本書は研究書なので、読みづらいところは明らかで、あまり読まれないに感じている。そこでシベリア抑留に関して一般読者向けに普及版を出そうと思つて、目下その原稿を執筆

しているところである。戦後60余年がたつた、戦争のことも抑留のことも、ますます忘れ去られようとして、昨今は太平洋戦争もシベリア抑留もあつたか否か全く存在しなかつたかのような感じである。それでよいのであろうか。あまり忘れっぽい国民は良き未来を期待できないのではあるまいか。戦争問題の整理をしている上記平和祈念でさえも、政府は戦後の廃止を決定しているのだから。

その他に、以前からの研究テーマであるトルストイの研究と日本におけるトルストイアン運動の研究に従事している。こちらは研究時間が十分に確保できず、あまり進んでいないとは言えない。2010年にトルストイ没後100周年を迎えるので、その時までになんとかまとめたものになんとかかまともなものでないかと考えてあせつてい。戦争やテロが絶えず、また、地球全体に広がる環境汚染等を見ること、平和主義と自然重視のトルストイの存在はきわめて重要であると考えらるからである。抑留問題もトルストイ研究も最後は出版となり、その資金が必要なのだから、実はこれが私の最大のウイークポイントなのである。

その他に、日本トルストイ協会の理事兼編集長として、文庫の没後100年に向けて、トルストイ文庫目録・データベース作成等、もろもろの準備をしている。同協会諸氏の応援をお願い申し上げます。(日本トルストイ協会理事)

還暦を迎えた 仙台鰐陵同窓会



仙台鰐陵同窓会 会長 杉本輝昭(3巻目)

東京鰐陵会の皆様、明けましておめでとうございませう。今年もご厚意の程よろしくお願ひ申し上げます。さて、仙台鰐陵同窓会のご報告をいたします。平成18年度総会は、昨年8月25日(金)に268名の会員の出席によりまして、無事終了いたしました。

18年度総会は、戦後間もない昭和21年に参加者10名で誕生して以来、本年度で満60歳の運慶を迎える記念すべき会となりました。会員数もいまや1700余名と大きな組織に成長しました。今日の輝かしい伝統を作るために長年ご尽力いただきました諸先輩の皆様に対し、改めて感謝を申し上げます。今後の課題は、やはり若い会員の発掘に尽きると考えます。特に40年代の出席者が少なく、時代を繋げるためには、この年齢層を増やすのが一番の急務と考えられています。それは、役員、会員の皆様から情報を持って声掛けして会員数を増やしていきたいと思っております。その他に親睦として、仙台鰐陵同窓会会長杯ゴルフ大会を開催しています。今年は10月19日に37名の参加で快晴れのもと楽しく行われました。

心臓血管外科について



大内 浩(2巻目)

国立循環器病センター、神奈川県立こども医療センター、東京医科大学、埼玉医科大学などを経て、平成16年8月から埼玉医科大学の山田中央総合病院で心臓血管外科部長をしています。

とここで、心臓血管外科というものをご存知ですか?文字通り、心臓と血管(動脈・静脈・リンパ管)の外科治療を行う診療科です。具体的には、冠動脈疾患に対する

バイパス手術、弁膜症手術(形成術、人口弁置換術など)、心臓癌に対する心臓摘出術、大動脈瘤手術、動脈閉塞に対するバイパス手術、血管内手術、静脈瘤手術などを行っております。手術件数も年々増加傾向にあり、2005年には1700件でした。手術以外でも深部静脈血栓(エコノミー症候群)、血栓性静脈炎、解離性大動脈瘤、リンパ浮腫などの保存的治療も行っています。2006年には新たに血管内治療センターを開設し、カテーテルを用いた、身体に対するダメージの少ない治療

も積極的に取り組んでいます。スタッフ紹介、診療内容、手術成績、一般的な病気の解説などをまとめたので、興味のある方は左記のホームページをご覧ください。
<http://www.chinokyo.or.jp/>

また、当科ではEメールによる病状や治療方針についてのセカンドオピニオンサービスも24時間受付で行っております。心臓血管科についての質問、意見は私までお気軽にお問い合わせください。
お問い合わせ先
Dr. Hiroshi Daiji
〒330-8555 埼玉県さいたま市大宮区宮前1-1-1
大宮中央総合病院 心臓血管外科 診察室

して、当科ではEメールによる病状や治療方針についてのセカンドオピニオンサービスも24時間受付で行っております。心臓血管科についての質問、意見は私までお気軽にお問い合わせください。
お問い合わせ先
Dr. Hiroshi Daiji
〒330-8555 埼玉県さいたま市大宮区宮前1-1-1
大宮中央総合病院 心臓血管外科 診察室



セントラルフィルター工業株式会社

代表取締役 松川文隆 (29巻目)

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-15
TEL (03)3350-0091(代) FAX (03)3350-0095

在京24回生 (昭和27年卒)

二七会は、昭和21年4月、宮城県立石巻中学校入学、石巻高等学校を昭和27年3月に卒業した者、並びに、同期(6年間)に1年でも在籍した、関東地区在住者によって編成されています。

青山雄一	芦原 潤	阿部 啓	阿部志郎	阿部長雄	石川正雄
和泉祐之	伊藤 薫	遠藤英男	坂入慶一	大矢武夫	貝 啓
勝山 徹	加藤直人	川村和義	川鍋光雄	菊池操三	桑田信治
古座明郎	後藤 悠	齊藤八郎	崎野昇三	佐々木毅	佐々木敏
佐々木峰雄	佐々木勇太郎	佐藤允俊	佐藤郁男	柴田晴夫	
末永 保	高橋二雄	高橋裕作	高山研造	玉河信也	千葉寛二
千葉武人	手塚康二	西島羽兎	長谷 潔	三浦 勉	八城重興
山崎英一	渡邊邦夫	波部 透			計44名

今後とも東京鰯陵会との交流によって、お互いの成長を積極的に語り合っていくことを念願しております。

29回生あれこれ

千葉弘二(29回生)



◆東京鰯陵会第18回総会(平成17年11月18日)で、29回生木村美樹会長が誕生しました。黒須忠嗣会長、その他の役員も29回生となり、忘年会、新年会、役員会、各委員会への参加と、木村会長ならびに石巻園人会松川会長を中心

に活動しています。木村会長は歴代会長同様、東京鰯陵会のため手弁当で奔走し、先輩、後輩のご協力で精力的に様々な問題解決に尽力されています。松川会長は石巻地域発展のため、教育・産業問題、さらには石巻園人会会員の獲得まで幅広く頑張っております。

◆平成18年7月2日、東京新高輪プリンスホテルにおいて、東京白梅会第45回総会(正式名「宮城県立石巻村文館高等学校同窓会関東支部総会(田石巻高女・石巻女子高等学校)のご招待があり出席させて頂きました。また男子の卒業生はあります。昭和15年から54年までの卒業生75名が参加され、様々な問題を討議され、様々な問題がアトラクションで50年卒の皆さんが合唱の「クラリネットをこわ

しちやったー石巻編ー」で会を盛り上げた楽しい会合でした。同窓会の名称は変わって1年1回の石巻井での会合を今後とも在京の皆さんで続けられることを願います。

◆平成18年9月10日(日)、銀座ライオン「入母屋」において、東京鰯陵29回生同窓会総勢70名のうち出席者17名で15時開始に、石巻から阿部悠一郎君が到着、参加者18名となり記念撮影のあと飲み放題でスタート、3時間の短い間でしたが楽しく過ごしました。

最後はおさまりのカラオケ、どの自慢大会……さぶちゃん持ち歌、29回生歌「三つ葉の男」も歌い、横濱恋歌「男作詞作曲」も歌い、来年度の再会を期して散会いたしました。

著者近見庸氏は鰯陵50回生である。小説「自動起床装置」で芥川賞を受賞し、「もぐら」で芥川賞を受賞した。また、中国人を嗜むと甘言で解明官に行かせ、医師らを出し、みせた白衣の日本人看護婦である(口の中にあるいは靴と靴紐について)。著者はこの正気の脱走シーンでの看護婦の行為に、「罪の底無し」の深さとはと堪えがたい「罪」を感じた。

現代日本の政治・社会状況は、罪と恥はないのか。著者は、コイズミという首相の憲法講義に「罪」の思いを述べ、その講義を熱々と聞く政治記者の(黄バネ)と呼ぶ。そして戦争犯罪の記憶抹消と改憲を意図し、ファアンズムへと傾斜する動向を見る。だけのジャーナリスト、学者、文化人らの破壊を糾弾する「いまここにあること」の恥。

本書における罪と恥への問いは、無限の自己の内奥からの(いま、これを書け)という表現衝動に始まっている(「書く場と時間の恥」、日本政治・社会状況への著者の批判は憤怒を伴い、さらに尖鋭化している「いまここにあること」の恥)。著者自身のこの力が鰯陵見聞に広く読まれることを期待したい。(毎日新聞社 06年7月刊 1,200円)

いま、自己の内奥から問う 罪と恥 三宅宗謙(29回生)

因書紹介 辺見庸 「いまここにあること」の恥

いま、自己の内奥から問う 罪と恥 三宅宗謙(29回生)

いま、自己の内奥から問う 罪と恥 三宅宗謙(29回生)

いま、自己の内奥から問う 罪と恥 三宅宗謙(29回生)

性への感性

平成の初期にW大学の教授を定年で退職した長友の談話である。

——その社会学科の学生は、決して目立つ存在ではなかった。さりとて几帳面な性格でもない。ボタの授業には熱心だったようにも思えていた。いつも長髪を束ねた身なりで教室の後方に座るとして、無気力な顔つきでノートをとっている姿が印象に残った。

その学生が、ボタが定年の年に郷里の山梨県の実家で眼病治療をした。眼病ははつきりしないが、原因ははっきりしないらしいのである。眼病ははつきりしないらしいのである。眼病ははつきりしないらしいのである。眼病ははつきりしないらしいのである。

1968年の5月、フランスを機ったゼネストの嵐中、学生たちには性と革命の著書が飛び交った。性への感性は、革命をすればするほどセックスをたくくなる。

と書きつけたという。社会の単位を個人との関係から考えると、そこには男女の性が革命の原動力となる原理も考えられる。性への感性は、革命をすればするほどセックスをたくくなる。

と書きつけたという。社会の単位を個人との関係から考えると、そこには男女の性が革命の原動力となる原理も考えられる。性への感性は、革命をすればするほどセックスをたくくなる。

と書きつけたという。社会の単位を個人との関係から考えると、そこには男女の性が革命の原動力となる原理も考えられる。性への感性は、革命をすればするほどセックスをたくくなる。

と書きつけたという。社会の単位を個人との関係から考えると、そこには男女の性が革命の原動力となる原理も考えられる。性への感性は、革命をすればするほどセックスをたくくなる。

白紙の活

白出 三郎 (0388)
白出 哲弥 (0318)
白出 雄太 (0088)

白紙株式会社
〒985-0802 宮城県石巻市白町二丁目4-29
TEL 0120-269-8842
TEL 022-842-0891 FAX 022-842-0892
http://www.shirakami.co.jp

海好き高じて 水中カメラマンになる



高砂淳二(30)回生

石巻と言っても、私は川向こうの浪波の出身です。近所にはホヤ屋やカキ屋、ウニ屋などが軒を連ね、年中魚介類の臭いがぶんぶんしています。そんな中で育ったためか、気づいてみたら海がないと我慢ができません。海好き人間になっていました。

帰国後、夜間の写真専門学校に通ったりしているうちに、うまく海関係の雑誌社に潜り

込むことができ、3年間専属のカメラマンとして世界中の海を歩きまわることができました。まんまと当初の目論見が叶ったわけですね。その後はフリーカメラマンとして、海だけを撮りたい自然や動物などを撮影しながら、雑誌や写真集、写真展などで発表し、今日に至っています。

今考えると石巻の海は私に体を維持したり味を楽しんだりするための食べ物としてだけでなく、海の中に対する興味、その深さとしての大きな自然、そして地球環境や自分の存在意義なども考える大切な糧を補え付けてくれたことを感じます。これこそ、私にとっての大きな海の恵みだと思います。これからもホヤや食べながら石巻のことを思い

出すつつ、がんばりたいと思います。(水中カメラマン)

高砂淳二写真展

06年8月18日(30)回生
バルコ・ロコスキヤリ
水中カメラマンとして全地球をフィールドに活躍している高砂淳二氏(30回生)の写真展が開催された。

海中の生物や風景が、赤、オレンジ、黄色、青、緑、紫と会場いっぱいには横溢する色彩の美しさに圧倒された。

氏は著作も多く、会期中に作家よしもとばな氏とのトーク&サイン会も開催された。

高橋洋風書作展

06年10月13日(18)回生など
らい・緑のギャラリー
古希記念、として高橋洋風氏(本名・秀純(27)回生)の書作展が開催された。

氏は中学1年のときから書に親しみ、石巻1年になって加藤翠先生に師事、本格的な書の勉強を始めたという。高



高橋洋風(27)回生

あけましておめでと(ござ)います

東邦工業株式会社

取締役会長 渡辺 武 (30回生)

〒340-0003 埼玉県北高橋郡高野町桜田二丁目三三三-10
電話(代表) 〇四八〇(五八) 九八二〇番
FAX 〇四八〇(五八) 九八二四番

伝統の技と心づくりの酒

一ノ蔵

三十三回生 石島 正敏
五十四回生 内海 貞和

株式会社 一ノ蔵
〒995-8501 宮城県大崎郡大崎町千手堂十丁目
〇一三六(五八) 〇一三六
http://www.ichinosaka.com/

お酒は二十歳になってから 飲んだらもう一人のマー

石巻高校 男女共学元年

ふる里通信

石巻かほく 久野義文 (30回生)

2006年は、石巻高校にとって新たな転出の年となりました。男女共学がスタートしました。新入生241人中、女子は102人占めました。男子校として20年余、歩んできた歴史に幕を閉じたのです。

石巻高ばかりではありません。石巻商業高も石巻女子高も共学となりました。石巻女子高の場合、校名も石巻好文館高と変わりました。高校における男女共学の流れは、石巻地方にとって06年の大きなニュースとして石巻圏域民の関心を集めました。

年が明けて間もなく共学から1年になろうとしています。が、石巻に女子生徒がいるということがいまだに想像がつかずません。頭で理解していても、やはり心情的にはどこかで抵抗しているのかもしれない。

こんなことがありました。夕方、車で母校の近くを通ったとき、下校途中なのか、女子生徒を見かけました。一瞬、この高校だろうと考えましたが、高々と気づきました。石巻高生だと、初めて共学の現実を見た思いがしました。

男子校だったときの思い出に浸っているも仕方ありません。共学1年目から石巻に新しい風が吹きます。5月に行われた吹奏楽部の定期演奏会には女子部員も20人出演

「角突き写真展」

06年7月27日(18)回生
四谷フォトギャラリー
写真家・橋本照英氏(30)回生が、震災にあった田山古志村(旧「闘牛」)の復興を支援するため、写真仲間と共に口一成氏とチャリティ写真展を開催した。

会場入口には、趣旨に賛同した著名な作家・文化人、女優がサインした大きなパネルがあり、カンパした来場者にもサインしてもらえるようにしてあった。山古志村村長も訪れるなど、郷土の関心を喚ぶ、反響を呼んだ。

闘牛復興支援写真家の恩返し

カンパ、震災の田山古志村へ

石巻かほく 久野義文

万石浦と奥の海

三宅宗謙 著 三宅宗謙 監修

たづね見るつらき心のおくのうみ
瀬平のかたのいふかひもなし

これは新古今集に載っている定家の和歌である。「おくのうみ」は奥の海、陸奥にある海をいうが、陸奥といつてもこの海をさすのか。

研究書には青森県の陸奥湾、岩手県の大船渡湾といった説が見られる。漠然といつただけという説もある。しかし、石巻地方の海とする説が江戸時代にあった。

仙台湾の学者佐久間潤蔵は享保四年(一七一九)、「奥羽観跡閑老志」の中で「東奥洪」と書いてオクノウミと説き、「黒崎の海上、金華島の外」または「浦宿渡の間の海」とあると述べている。「黒崎」云々は、万葉集に見える小田郡の産金地を金華山と考え、奥の海をその付近の海と推測したもののようである。これがやや無理な説であるが、「浦宿渡の間の」方は注目されたい。

実は、同じことが万石浦沿岸の村の地誌にも書かれている。安永三年(一七七三)の流岸村風土記引用書には、奥の海は古村ならびに流岸村から沢田村、浦宿渡までの入り海だと書いている。根岸村の浦宿渡流岸の書出では奥の海の入江口が干潟となり、天文のころから人が住むようになったと述べ、流岸村という町名は流が打ち流した跡に由来すると書いている。先の流岸村の書出はまた「名所奥海」

の項で、「義山様の御代、この浦を万石浦と御名付け遊ばされ候由申し伝へ候事」と書いている。義山様とは二代藩主伊達忠宗のことである。風土記引用書には藩命によって村野人が書き上げ、郡役人を經由して藩に提出されるものだから、藩主の名をかたって虚偽を書くことはない。

それでは、忠宗が奥の海を万石浦に変えさせたのはいつかというところ、慶安二年(一六四九)である。忠宗は旧暦八月二十六日、杜鰯半島で鹿狩りをした。桃山から山を越えて女川浜に行き、正安寺(照源寺)で一宿。翌二十七日、万石浦北岸を過って仙台城に向かっている。口伝によれば、忠宗は道すがら奥の海を見て「田にしたら米がどれだけ取れるか」と聞いた。「万石は取れます」と供の者が答えたら、「ならば、その名を万石浦とせよ」と言ったという。潤蔵が「閑老志」に「浦宿渡の間に」と書いたのは、この話を聞いていたからかも知れない。

忠宗の鹿狩りから四十年後、潤蔵の「閑老志」が出る三十年前、元禄二年(一六八九)の夏、芭蕉が石巻を訪れている。日和山から奥の海を眺めたがよく見えなかった。見えなかったのは浦口のあたりで、「奥海(今ワタノハト云)」と曾良は旅日記に書いている。

ところで、冒頭の和歌に詠まれた奥の海は、定家が實際に見た風景ではない。源氏物語の伊勢志摩の段の和歌を本歌にして詠んだものである。これは建仁二年(一一〇三)の後鳥羽院主権第三度百首歌合で詠まれたものだから、奥の海は十三世紀初頭には歌名所として知られていたことになる。

それでは、奥の海は都の歌人たちにどのような海として詠まれていたのか。

詠まれているが、愛そのものの風景でなく、愛の「そがひ」の風景として描かれている。それは作者の「つらき心」の心象風景でもあるが、都の歌人たちが詠む奥の海はこうした切なる悲愁や懐情で彩色された奥の海である。

奥の海はなぜ、そのような風景として描かれたのだろうか。

奥の海は陸奥の奥なる奥の海である。古代の奥の海は陸奥の奥なる奥の海である。

詠まれていたであろうか。奥の海は都の歌人たちにどのような海として詠まれていたのか。

詠まれているが、愛そのものの風景でなく、愛の「そがひ」の風景として描かれている。それは作者の「つらき心」の心象風景でもあるが、都の歌人たちが詠む奥の海はこうした切なる悲愁や懐情で彩色された奥の海である。



万石浦の夜明け

photo/T. Miyake

(延喜式部式、和名抄)にもかわらずである。そのような国境観は、古代国家が崩壊しても禁門貴族の社会は変わる事がなかったと思われ、陸奥の奥なる奥の海は中華国家の内海であるとともに、外なる世界と接している。外なる世界とは「異界」であり、「異相異形」の者の住む世界である。

奥の海は中世になっても、雅の内海であるとともに、そうした不安な外界との境界領域でもあった。定家が詠んだ奥の海が、雅な情緒世界でありながら「そがひ」の世界でもあるのは、そうした禁門貴族の抱く奥の海観の二面性に起因していると思われる。

しかし、そのように詠まれた奥の海も、中世後期になると変化の光が見える。本文の末尾にかかげた和歌は、冷泉為尹が応永二十二年(一四一五)、将軍足利義持の命で詠んだものである。この中で奥の海は、雲わく東の夜明けの世界としてあらわされてくる。それは彩り美しい静謐の世界である。奥の海はここに至ってようやく、極限の幽暗から開放され、みずからの清新な朝なごの空を迎えている。

もちろん、この奥の海の世界は為尹なりの観念の所産ではある。しかし、この時代になっても奥の海にたいする古代的観念の呪縛は解けていなかった。だから、こうした和歌が詠まれたことの意味は大きくは考えられない。

奥の海は陸奥の奥なる奥の海である。古代の奥の海は陸奥の奥なる奥の海である。

詠まれていたであろうか。奥の海は都の歌人たちにどのような海として詠まれていたのか。

詠まれているが、愛そのものの風景でなく、愛の「そがひ」の風景として描かれている。それは作者の「つらき心」の心象風景でもあるが、都の歌人たちが詠む奥の海はこうした切なる悲愁や懐情で彩色された奥の海である。

雲の渡八重たつ方のおくの海の
今あらはるるあまきさぎの空

(日本書紀古事類)

謹賀新年

ささもり薬局

代表取締役 笹森幸弘 (49歳)

有限会社 サムメディカル
〒183-0012
東京都三鷹市上連雀4-1-11 FMミタカビル1階
TEL 0422-70-3432 FAX 0422-70-3433

三鷹店 TEL 0422-41-4301 FAX 0422-41-4305
旗南店 TEL-FAX 0422-34-4231
小金井店 TEL 042-386-2681 FAX 042-386-7281

シティハイフ店 TEL 0422-70-3432 FAX 0422-70-3433
中坪薬局通信店 TEL-FAX 0422-89-6865
小金井店 TEL-FAX 0422-89-7519

FOOD PACKAGE & MATERIALS SUPPLIER

包装資材・販促用品

株式会社 ジンパック

代表取締役 堀子文人 (30歳)

本社 〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-20-18
TEL 03(3904)2166 FAX 03(3904)2154
販売店 〒203-0043 東京都米子市卸売市場内
TEL 042(475)2038 (株)日本食肉流通センター内